

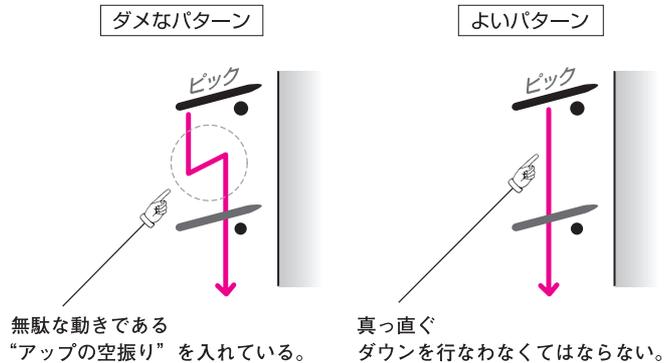
注意点1



**空振りは絶対NG！
エコミーの流れを確認せよ**

エコミー・ピッキングは、1回のピッキング動作で複数弦を弾くテクニックとなるので、途中で無駄な空振りを入れないように気をつけよう(図1)。例えば、ダウンが2回続くエコミーの常套パターンでは、“①ダウン、②次の弦にピックを当てて待機、③再びダウン”という流れで、右手を動かしてみしてほしい。

図1 エコミー・ピッキングの軌道図



注意点2



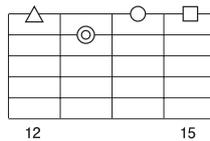
**各コード音を理解しながら
ポジションを覚えるべし！**

メイン・フレーズのようなエコミー・フレーズを弾く時には、事前に使用ポジションを確認しておくことが大切だ。このフレーズは、基本的にトライアドで構成されているが(1&2小節目は、それ以外の音も加えられている)、このようなトライアド・ポジションは、各コード音がどの位置にあるのかを理解しながら覚えるとよいだろう(図2)。

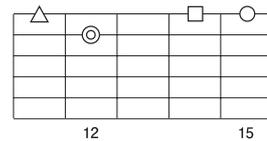
図2 メイン・フレーズのポジション

◎ルート音 △3rd □5th

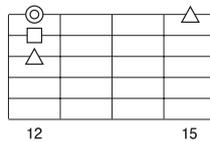
・1小節目 (C△7)



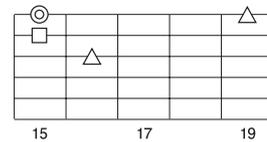
・2小節目 (B)



・3小節目 (Em)



・4小節目 (G)



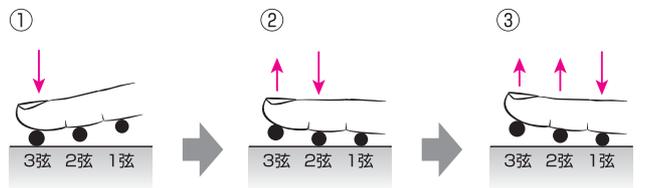
注意点3



**異弦同フレットのセーハは
ウェーブ運動で攻略するのじゃ**

メイン・フレーズ3小節目の3本弦エコミーは、3本弦を1本ずつクリアに鳴らすために、異弦同フレットをセーハしながら、押弦とミュートを細かく変えていくことがポイントになる。実際に演奏する時には、まるで“波”のように、第一関節と第二関節をうまく上下運動させて、弾きたい弦に指の重心を置くようにしよう(図3)。

図3 1本弦によるウェーブ押弦



① 3弦だけを押弦。
1&2弦はミュートする。

② 指先を少し浮かせる
感じて3弦をミュート
しながら、2弦を押弦。

③ さらに指先を浮かせて
1弦のみを押弦。
3&2弦はミュートする。

【異弦同フレット】異弦同フレットは、速弾きの大きな関門のひとつだ。特に左手のミュートの難易度が高いので、コントロール力を養うためのよい練習材料になるだろう。